

Attention!

旅行医学という新しい医学分野があります。初めて聞く方も多いと思われますが、これは、スポーツ医学が20数年前にスポーツという網をかけて、それに関連するケガ・病気の予防や治療の専門分野として生まれたように、10年前、「旅行」という網をかけて、それに関連する病気・ケガの予防対策を扱う応用医学分野として欧米の医師を中心に誕生しました。

スポーツ医学は、整形外科医を中心に発展してきましたが、今では小児科、内科、婦人科などすべての科の医師が関与しています。同様に、感染症からスタートした旅行医学は旅行に関する広い分野をカバーすると同時に、感染症から成人病を基礎に発症する脳卒中・心筋梗塞対策がメインテーマになりつつあります。1,600万人が海外旅行する今日、何科の診療においても、英文での診断書や証明書を依頼されたり、中高年の方からの病気と旅行に関する意見、アドバイスを求められる機会は多いはずで、

日本人旅行者の大部分は、アメリカ、カナダ、ヨーロッパ、オセアニア、そして中国を含め東南アジアの衛生状態のよい大都市にバック旅行をしています。しかし、日本では「海外旅行」と「医学」というと、マラリア・生水・下痢に注意といった熱帯医学の情報一色で、

一般旅行者に必要な基本的な旅行医学の情報がほとんどありません。

アメリカでは1,000万~1,500万人の海外旅行者のうち、800万人が、メキシコを含む熱帯病のある国へ旅行するための旅行医学=熱帯医学ということは妥当な面があります。しかし、日本は、例えば、アフリカへは1,600万人中8万人、全旅行者の0.5%しか訪れていません。

日本では、多くの一般旅行者が必要としている「旅行医学」とインド・アフリカなどへ行く少数の旅行者のための「熱帯旅行医学」とを、はっきりと分けなければ混乱が生じ、日本の旅行医学が発展しません。これは決して熱帯旅行医学を軽視してよいということではなく、対象とする人数の問題です。

国際旅行医学会の「旅行医学」の定義は「旅行医学とは旅行に関わる病気・ケガの予防と治療を扱う各科にまたがる新しい専門分野である」としています。アメリカのスポーツ医学はフットボールのケガの予防がメインテーマであり、日本ではその人口の多さでは、野球のスポーツ医学、そして柔道、日本独自の剣道や相撲のスポーツ医学があります。同様に日本の旅行医学のテーマもその人口や、日本独特の実情から決定されます。

図1はこの観点からみた「日本の旅行医学」の「樹」です。飛行機の中の旅行医学は、日本

21世紀の 知っておきたい旅行医学

(航空機時代へ向けての対応) 企画・構成 篠塚 規(オブベース メディカ)

旅行医学って何だ!!

海外渡航者に対する
予防医学としての旅行医学の紹介

からは、アメリカ、ヨーロッパ、オセアニアに行くには、片道10時間、計20時間、ハワイ、シンガポールなどには7時間、計14時間の長いフライトを強いられるため、大きなテーマです。

日本の旅行者の死亡者数の統計からも、中高年の脳卒中と心筋梗塞対策もメインテーマです。40歳以上の10人に1人が糖尿病であるといわれる今日の日本では、糖尿病の旅行医学も必要です。バリアフリーということで、近年盛んになった障害者旅行(車椅子の旅行、人工透析旅行など)も、大きなテーマの一つです。スイス、ヒマラヤのトレッキングやいきなり高度3,000メートルにある空港に着く南米へのツアーでの高山病対策もますます重要になってきました。エイズ、B型・C型肝炎対策としてのSTD(性感染症)の旅行医学も扱わなければなりません。最近盛んになりつつあるクルーズは、参加者が超高齢であり、クルーズ独特の医療問題は海外でもメインテーマとなっています。旅のトラブルに関わる旅行医学の法律的側面も無視することはできません。海外では、政府の要人、企業トップ、エグゼクティブの旅行の安全を扱うVIPの旅行医学がありますが、近い将来日本でも必要とされると思われます。

この旅行医学の樹は、常に新しい正確な情報という肥料を与えなければ成長しません。時代の要請で新しい分野が加わり、解決された問題は縮小していくと思われます。そして、多くのプロフェッショナルが、狭い視野でなく、広い視野とバランス感覚をもって支えなければこの樹は倒れてしまいます。

今回は、欧米の機体に搭載されているハイテク半自動除細動器(AED)に関して、アメリカン航空のマッケナス医師より頂いた資料を基に私が解説します。また、“3万フィートの先進医療”を、最新の機内テレメディシンと、機内での医療の実体を全日空の宮島真之先生に紹介していただき、40歳以上の10人に1人が糖尿病といわれる時代において、“糖尿病患者の海外旅行をサポートする”と題して順天堂大学の河盛隆造教授と東浩介先生に解説していただきました。

旅行を安全・快適にする21世紀の旅行医学の紹介の第一歩です。国際旅行医学会、ヨーロッパ旅行医学会、アジア・太平洋旅行医学会、その他の旅行医学関連の学会や日々の活動での、国内外の先生方からの最新の旅行医学情報をシリーズとして紹介する予定です。

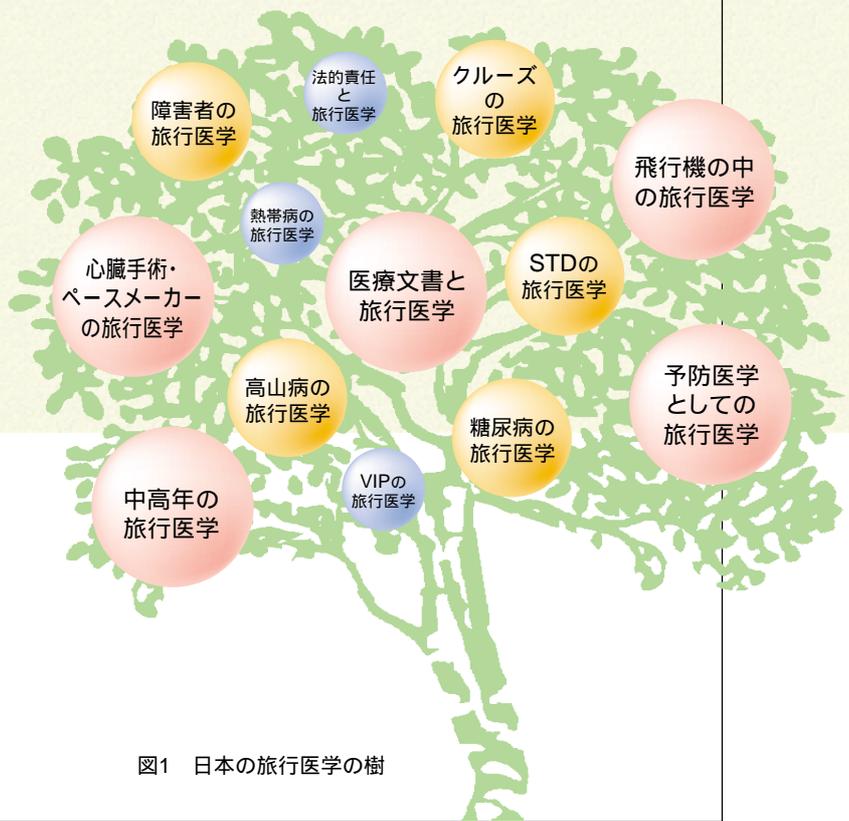


図1 日本の旅行医学の樹